

令和5年度第1回寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議 次第

書 面 会 議

議 事

- (1) 議事録承認委員について
- (2) 生活支援コーディネーター活動報告（資料2）
- (3) 令和6年度寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議について  
(資料3)

配布資料

---

- 資料1 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議委員名簿  
資料2 寒川町生活支援コーディネーター活動報告  
資料3 令和6年度寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議について

## 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議委員名簿

任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日

団 体 名	委 員 名 (敬称略)
(1) 介護保険事業所連絡会の代表	み さわ きょう こ 三 澤 京 子
(2) 寒川町内社会福祉法人の代表	こ にし けん ご 小 西 謙 吾
(3) ボランティア連絡協議会の代表	え どう けい こ 江 藤 恵 子
(4) 寒川町シニアクラブ連合会の代表	なか ま てつ ろう 中 間 鐵 郎
(5) 公益社団法人寒川町シルバー人材センター	ふる や まさ ひろ 古 谷 雅 洋
(6) 社会福祉法人寒川町社会福祉協議会	いな ば やす ひろ 稻 葉 康 宏
(7) 寒川町地域包括支援センターの代表	さ どう たかし 佐 藤 敬
(8) 寒川町民生委員児童委員協議会の代表	やま ぐち さち こ 山 口 幸 子
(9) 神奈川県平塚保健福祉事務所の代表	とみ おか じゅん こ 富 岡 順 子
(10) 公募の町民	

## 寒川町生活支援コーディネーター活動報告

**1 令和5年度 寒川町生活支援コーディネーター配置事業 事業計画**

寒川町の地域包括ケアシステムにおける、生活支援・介護予防・住民主体の取り組み・生きがいつくり等を、今、寒川町にあるたくさんの方の活動を大切にしながら必要な支援を行い、加えて、新たにつくる必要性のあるものを、今ある資源を活用する視点ももちながら「つくる」ことができるように意識して活動し、より多くの町民に「生活支援コーディネーター」を身近に感じていただけるように努めます。

また、常に、寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備会議（協議体）の委員の皆さんと情報共有をし、助言をいただきながら、協議体と生活支援コーディネーターの両輪で活動していくことで、寒川町における生活支援体制整備事業の取り組みを進めます。

コロナに伴う様々な制限が緩和されてきており、令和5年度は、地域ごとに開催されている通いの場（サロン、体操等）がより活発に、開催回数をコロナ前に戻すなどの動きがあるほか、飲食を交えての時間も少しずつ再開される状況にあります。その動き、エネルギーを運営にあたる人だけの負担にせず、サポートしていきます。

**寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議 と  
生活支援コーディネーター は 一体であり両輪**

**寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議は、**

日常生活に支援が必要な高齢者の方に住み慣れた地域で継続して生活していただくため、必要な生活支援サービス及び介護予防サービスを滞りなく受けていただけるよう、サービスの基盤整備を推進するための協議を行う会議。

**生活支援コーディネーターは、**

上記、会議の委員の皆さんと協議をしながら、実際の取り組みを進める。

**キャッチフレーズは、**

寒川町に、支え・支えられ＝「お互いさま」を増やしたい  
「お互いさま」の中に 高齢者(シニア)がたくさんいて欲しい

**そのために、**

1あるもの把握・探し 2あるもの活かし 3あるもの繋ぎ  
4必要なもの把握・探し 5欲しいから自分でつくる をお手伝いします！

## 重点目標

### ① コロナ前に戻りつつある、様々な住民主体の活動を、お手伝いする

コロナに伴う様々な制限が緩和されてきており、令和5年度は、地域ごとに開催されている通いの場（サロン、体操等）がより活発に、開催回数をコロナ前に戻すなどの動きがあるほか、飲食を交えての時間も少しずつ再開される状況にあります。その動き、エネルギーを運営にあたる人だけの負担にせず、サポートしていきます。コロナで制限された人と人のつながりを、かつ、リアルでの人と人のつながりを再開したい、取り戻したいと奮闘する皆さんの力になれるよう取り組みます。

### ② 活動する人、団体を「つなぐ」ことをお手伝いすることで、新たな活動を

令和4年度後半、寒川町で新たに「通いの場」を立ち上げたいという方の相談対応をする中で改めて実感したのは「活動している人や団体同士が出会い、話し、意気投合すると、加速度的に活動の立ち上げ準備が進んでいく」ということです。様々な場面でことを意識しながら取り組み、ゼロからの出発ではない、お互いが持っているものを出し合いながら共有、工夫し、新たな活動の展開が増えるよう取り組みます。

### ③ 身近な公園での介護予防の場づくりと「さむかわ waku waku 体操」の普及

令和4年11月から町内5ヶ所の公園で開始した「身近な公園で軽く体操しませんか」の取り組みは、「身近な場所で、週に1回、気軽な介護予防」「出かけることで人と出会い、挨拶し、会話をする」「公園という開放的な場所での体操で気分もリフレッシュ」を目的に、社協の広報紙や各種団体の会議や講座での周知、そして何よりも参加している方からの口コミや誘い合いで、新たな参加者が増え、定着してきました。ラジオ体操と「さむかわ wakuwaku 体操」をしていますので、寒川町のご当地体操が広まるきっかけの場にもなっています。さらに、参加者は主に元気高齢者のシニアの皆さんが中心ですから、ここで各種の情報発信をすることで、その情報をもとに行動、参加につながる方が多くいることが分かってきました。公園での体操の場が、シニアの皆さんの参加支援、活動支援の機会となるよう意識しながら取り組みます。

## 2 令和5年度寒川町生活支援コーディネーター配置事業月次報告書

### 【全体的なこと】

令和5年度も、引き続き、社会福祉法人寒川町社会福祉協議会（以下「社協」。）

が、寒川町より「寒川町生活支援コーディネーター配置事業」を受託しました。社協という組織で生活支援コーディネーターを受託していることから、社協事業において生活支援コーディネーターの役割、取り組みに資するもの※について活動報告をします。

### ※資するものの基準と表記について

- ・シニア世代に関わりがある内容のため、生活支援コーディネーターが対応  
…資源開発、ネットワーク構築、コーディネート、会議の出席等  
⇒以下、**(関)**と表記
- ・シニア世代の参加があるもの、シニア世代が自ら動いているもの  
…住民主体の活動の場、またその土壌づくり  
⇒以下、**(参)**と表記
- ・「生活支援コーディネーター」は**SC**と表記。

## **【重点目標に対する取り組み状況】**

### **重点目標**

#### **1 コロナ前に戻りつつある、様々な住民主体の活動を、お手伝いする**

コロナに伴う様々な制限が緩和されてきており、令和5年度は、地域ごとに開催されている通いの場（サロン、体操等）がより活発に、開催回数をコロナ前に戻すなどの動きがあるほか、飲食を交えての時間も少しずつ再開される状況にあります。その動き、エネルギーを運営にあたる人だけの負担にせず、サポートしていきます。コロナで制限された人と人のつながりを、かつ、リアルでの人と人のつながりを再開したい、取り戻したいと奮闘する皆さんの力になれるよう取り組みます。運営する方、参加する方、いずれもシニア世代が中心です。「おたがいさま」で、それぞれの役割発揮の場づくり。

（取り組み状況）

- ・通いの場におけるプログラム内容の相談、調整、つなぎを支援  
→社協ボランティアセンター、SCが対応  
～岡田すいせんサロン、ふれあいサロン絆くらみ、新橋すみれの会、田端高砂会、ゆめクラブ大曲 ほか
- ・通いの場に参加するための手段（移動、送迎）についての相談に対応

→社協ボランティアセンター、SCが対応。  
個人ボランティアが対応、移動（送迎）の仕組みづくりの検討  
～オレンジカフェ、こすもすカフェ、岡田すいせんサロン、岡田笑和会

- ・ 物品の貸し出しで通いの場での対面での集まりを支援  
→映画鑑賞会への機材貸出や上映サポート  
～小谷パールクラブ、新町ミニサロン
- ・ 自主活動「寒川ポールウォーキングクラブ」への参加  
→SCとしての参加は、町主催の「ポールウォーキング体験会」  
自主活動「寒川ポールウォーキングクラブ」のメンバーとして参加中  
～町高齢介護課（一体的実施事業）主催で「ポールウォーキング体験会」  
を継続開催して下さっていることで、体験会参加者が自主活動にも参加  
という流れが定着し、自主活動への参加人数が増えている。また、体験会  
に未参加でも関心をもって新たに参加される方が増えてきた。  
～協会の長谷川清孝さんが細やかに連絡をして下さっている。  
～さむかわ中央公園を中心に歩いているが、今後は寒川神社や川とのふれ  
あい公園まで足を伸ばしてみようとの計画も。



## 重点目標

### 2 活動する人、団体を「つなぐ」ことをお手伝いすることで、新たな活動を

令和4年度後半、寒川町で新たに「通いの場」を立ち上げたいという方の相談対応をする中で改めて実感したのは「活動している人や団体同士が出会い、話し、意気投合すると、加速度的に活動の立ち上げ準備が進んでいく」ということです。様々な場面でことを意識しながら取り組み、ゼロからの出発ではない、お互いが持っているものを出し合いながら共有、工夫し、新たな活動の展開が増えるように取り組みます。

（取り組み状況）

- ・ 4月開始「しゃべる一む」 旧五島クリニック（倉見）にて

→S Cが対応

～県の補助金の活用に伴う報告書や書類作成等の支援

～町内ですでに活動している通いの場への見学や情報交換の場づくりのつなぎ、人のつなぎ、その場への同席

～タウンニュース寒川版へ取材の依頼と同席

～地域包括支援センターが「認知症カフェ」としての視点も踏まえ情報交換をしたいとの希望があり、情報提供とつなぎ支援

～町高齢介護課がチームオレンジ連絡会で「しゃべる一む」の紹介をしてくださり、連絡会で一緒だった「オレンジカフェ」とつながり、11月に「しゃべる一む」で「オレンジカフェ」の開催

～身近な公園で軽く体操しませんか（さいど公園（倉見））で、「しゃべる一む」に参加している方同士が一緒になり、口コミで参加の呼びかけ



↑ヨシさんちの縁が和 参加、情報交換  
↓しゃべる一む



↑一之宮北フレンド 参加、情報交換  
↓しゃべる一むでオレンジカフェ



・5月開始 寒川もくせいハイツシニアお気楽体操

→S Cが対応

～岡田もくせいハイツ自治会が主体となり、令和4年度2月、3月に介護予防講師派遣事業を利用して開始。4月以降は自治会長の交代もあり、どのように継続するかを一体的実施事業の担当者会議でも共有し、



SCとして、町内で1番高齢化率が高い団地の集会所での「介護予防」「体操の場づくり」「通いの場の継続」の視点から活動の継続を

支援。介護予防講師派遣事業の申請やチラシ作成等を行う。

～自治会の組長会議にSCが毎月参加しているため、自治会長および組長さんの理解も得やすかった。皆さん開催を理解し喜んでくださり、進んで周知（チラシの回覧や掲示板への掲示等）に協力して下さる。

～現在は、毎月の開催日に自治会長が全て関わって下さり、会場設営から片付け、参加者への対応等、ご対応くださっている。

・ 6月開始 ご近所さんで集まってシニアお気楽体操

→SCが対応

～寒川キリスト教会から、「礼拝のない平日は空き部屋があり、ここを開放して、地域住民の方との交流の場をつくりたい。ゆくゆくは子ども食堂などもやってみたい」との相談を受ける。

～地域住民の方が気軽に参加できる場として、まずは、教会の空き部屋で月1回、介護予防講師派遣事業を利用して、体操の場を始めようということになった。

～ご近所さんが体操の場に参加することで、教会の建物に気軽に来れるようになって、教会員さんとも顔見知りになって、そこから、「一緒に子ども食堂をやってみない？」というようなきっかけがつかめるように、まずは、何よりも、「教会」という場所に気軽に出入りしてもらおう環境をつくることから始めている。※宗教活動ではありません。



## 重点目標

### 3 身近な公園での介護予防の場づくりと「さむかわ waku waku 体操」の普及

令和4年11月から町内5ヶ所の公園で開始した「身近な公園で軽く体操しませんか」の取り組みは、「身近な場所で、週に1回、気軽な介護予防」「出かけることで人と出会い、挨拶し、会話をする」「公園という開放的な場所での体操で気分もリフレッシュ」を目的に、社協の広報紙や各種団体の会議や講座での周知、そして何よりも参加している方からの口コミや誘い合いで、新たな参加者が増え、定着してきました。ラジオ体操と「さむかわ wakuwaku 体操」をしていますので、寒川町のご当地体操が広まるきっかけの場にもな

っています。さらに、参加者は主に元気高齢者のシニアの皆さんが中心ですから、ここで各種の情報発信をすることで、その情報をもとに行動、参加につながる方が多くいることが分かってきました。公園での体操の場が、シニアの皆さんの参加支援、活動支援の機会となるよう意識しながら取り組みます。

#### (取り組み状況)

身近な公園で 軽く体操 しませんか

**時間** 午前9時～9時30分

**場所** (月) 倉見 : さいど公園  
(火) 宮山 : 信玄芝原公園  
(水) 岡田 : 越公園  
(木) 一之宮 : 一之宮公園  
(金) 田端 : 矢島公園

**内容** ラジオ体操、さむかわ wakuwaku 体操

※雨天中止

※祝日はお休み

※7月、8月は、暑いのでお休み

※1月、2月は、寒いのでお休み

→SCが対応

～旗を掲げる 参加者の中から自主的に手伝って下さる公園がほとんど

～音出し スマホ (Youtube★) +Bluetoothスピーカー

★さむかわ wakuwaku 体操の再生速度を75%にして再生。シニアでも体操しやすい、ゆっくりのペース。当初、100%速度で再生していた時は、「速すぎる。年寄り向きじゃない。動きが多くてついていけない。もうやりたくない」等のご意見多数。

～声掛け 健康運動ボランティアさんが自主的に手伝って下さる公園もある

～情報提供 口頭、チラシ配布 参加者からの情報提供もある

→各公園の状況

～月曜日：倉見 さいど公園

参加者：女性ばかり、5名～10名、  
地域の民生委員も1名参加

経過：月1回、健康運動ボランティアの方が参加して下さり、声かけや体操をリードして下さる。



開催時には目印にこの旗を掲げます



ご近所から音量のことで苦情を受けた ことがあり、配慮が必要。  
公園の向かいのお宅の方がご自宅のガレージにS Cの車を駐車させてくれる。

～火曜日：宮山 信玄芝原公園

参加者：女性9割、男性1割で  
5名～10名、

経過：宮山と小谷の自治会の方が  
参加者におり、口コミで  
誘って男性の参加者も。  
以前、健康運動ボランティア  
をしていた方とのこと。



～水曜日：岡田 越公園

参加者：女性、男性で15名～20名

経過：自治会長が協力的。  
男性参加者も5名ほど。  
9月以降、誘いあって参加の方が  
増え、新規参加人数の伸びは1番。  
転居してきたばかりの女性が  
10月から毎回参加してくれている。  
集会所での体操のチラシも配布し、  
自治会長自ら参加を呼び掛けて下さる。



～木曜日：一之宮 一之宮公園

参加者：女性、男性で20名～30名

経過：緑道で話している方に声掛けし、  
参加して下さるようになった。  
一之宮ゆめクラブ、民生委員が  
参加してくれている。

健康運動ボランティアが3名ほど

参加して下さっていて、体操をリードして下さり心強い。

「お父さんが亡くなり、ずっと家にこもってた。お向かいさんが誘ってくれて  
参加できた。今、毎週、とても楽しい」とのお声も。

～金曜日：田端 矢島公園

参加者：女性、男性で5～10名



経過：田端高砂会の皆さんが積極的に参加して下さい。  
大曲から健康運動ボランティアの方が来てくださる。  
旗とポールを自分たちで保管して下さい。



※毎週（木）にグランドゴルフで矢島公園に集まっているので、体操を（木）に変更して欲しいとの要望あり。  
※公園での体操の周知について、もっと力を入れて人を集めるべきとのご意見

## 【月ごとの動き】

### 毎月

- (関) 岡田もくせいハイツ自治会 組長会議
- (関) 県営寒川もくせいハイツ第二自治会 幹事会
- (関) 社協ボランティアセンター ボランティア相談、マッチング、情報発信
- (関) 民生委員児童委員協議会の定例会（全体、地区）出席 情報共有、連携
- (関) 社協ボランティアセンター打合せ 出席
- (参) サロンや子どもの登下校の見守りなど、地域の支え合い活動等
- (参) ボランティア活動（個人、グループ、イベント等）
- (参) 社協のふれあい・いきいきサロン 子育てサロンでのボランティア活動
- (参) 寒川町シニアげんきポイント事業でのボランティア活動
- (関、参) 自主活動 寒川ポールウォーキングクラブ
- (関、参) 自治会、シニア連の単位クラブ、ボランティアグループ等による通いの場（サロン、お茶のみ、体操など）の開催

### 4月

- (参) 岡田すいせんサロン 久しぶりに「すいとん」を大鍋で作り食べる
- (関) しゃべる一むの初回が近づき、備品や書類等の支援が増えた
- (参) しゃべる一む初回前に、プレオープンでパッチワークとキルトの展示
- (関) 田端高砂会での、社協の紹介、包括・南部相談室の紹介について打合せ
- (関) 地域でサロン活動を始めたいとの相談者を地域活動の見学につなぐ
- (関) 町議のYさんと情報交換 町のボランティア団体登録と社協の団体登録
- (関、参) 田端高砂会で社協と包括・南部相談室の紹介、参加者多数
- (関) 地域福祉活動推進のための活動経費助成金の問い合わせが増えた
- (関) 地域ケア会議（個別会議）出席

- (関、参) ソフィア椿の花サロン 高齢者よろず相談窓口  
社協、包括・南部相談室の紹介
- (関、参) しゃべる一むが初回を迎えた。48人が来所
- (関、参) シニアフェスティバル開催。シニア連が総会の  
開催方法を工夫
- (関) 寒川キリスト教会と活動開始に向けての打合せ
- (関、参) 子ども食堂に関心のある方を、子ども食堂えんがわ、  
倉見こども食堂へつなぐ
- (関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバルの打合せ等が開始



## 5月

- (関、参) 岡田すいせんサロンで体操、包括の説明
- (関、参) サークルさくらの会初回 (シニア連の単位クラブが新たに発足)
- (関、参) 寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操 初回 (介護予防講師派遣)
- (関、参) 子ども食堂に関心のある方を一之宮こども食堂#ひろばへつなぐ
- (関) 社協の理事による「地域福祉部会」にてSCの業務状況を報告
- (関) アルツハイマーデイ打合せ
- (関、参) 小谷パーククラブ映画会 上映サポート
- (関、参) しゃべる一むが2回目の開催
- (関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 体育館との打合せ
- (関、参) ポールウォーキング体験会 自主活動へのお誘い、公園の体操PR
- (参) 福祉活動センターまつり (旧つくしの家まつり) 多数のシニアが活躍
- (関) 興全寺さんで居場所づくりの相談 (夏休みの取り組みを検討)
- (関、参) 寒川町ボランティア連絡協議会 総会
- (関) 地域福祉活動推進団体登録制度についての説明と登録依頼で団体を訪問
- (関、参) ボランティア交流会 ボッチャ  
シニアげんきポイント登録の方と合同で開催



## 6月

- (関、参) 新橋すみれの会 認知症サポーター養成講座 開催
- (関、参) 食育ひろばで子ども食堂の皆さんとPR活動、シニア世代多数活躍
- (関) さむかわエコネット 社協の団体登録制度について
- (関) 認知症サポーターステップアップ講座 地域での活動、社協の紹介
- (関) 寒川町シニアクラブ連合会 会長会議 握力測定、一体的実施の説明
- (関) フードバンクさむかわ 打合せ
- (関) 岡田もくせいハイツ自治会 組長会議 出席
- (関) さむかわエコネット 情報交換 社協の団体登録制度について
- (参) ふれあい・いきいきサロン (障がい児者サロン) ボッチャ
- (関、参) 寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操
- (関) 一体的実施事業 担当者会議 出席
- (関、参) 寒川キリスト教会 ご近所で集まってシニアお気楽体操 初回
- (関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 打合せ
- (参) しゃべる一む 開催
- (関、参) 新町新生会 ミニサロン 映画会 機材貸出し
- (関) 地域ケア会議 (個別会議) 出席
- (関、参) ヨシさんちの縁が和へしゃべる一むの運営メンバー参加、情報交換
- (関、参) 寒川町文化連盟来所、子ども食堂へのイベント周知のつながりの依頼
- (関、参) 県営寒川もくせいハイツ第二自治会 認知症サポーター養成講座
- (関、参) 一之宮北フレンドへしゃべる一むの運営メンバー参加、情報交換
- (参) 県営寒川もくせいハイツ第二自治会 シニア向けスマホ教室開催
- (関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 出店者会議
- (関、参) 生活困窮世帯の子どもの学び場「はぐくみ塾」夏の自習室を周知
- (関、参) さむかわクリーナーズ (生活保護受給世帯) 健康相談、美化活動
- (関) 一体的実施事業 部課長会議 出席せず報告で情報共有くださる
- (関) 地域福祉活動推進のための活動経費助成金を、申請団体へ交付



7月

- (関、参) 7月、8月は公園の体操はお休み。念のため今週は様子見に回る。
- (関、参) 町社協の団体登録「地域福祉活動推進団体登録制度」周知開始
- (関) 町自立支援協議会 出席
- (関、参) 倉見福寿会 一体的実施事業プログラム① 町役場が直接調整完了
- (関、参) 寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操
- (関) アルツハイマーデイ 打合せ
- (関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 企画運営委員会
- (関) 湘風園より新たな取り組みの内容を情報提供を受ける
- (関) 健康づくり体操の日 健康運動ボランティア総会 公園のお礼と依頼
- (関、参) 寒川キリスト教会 ご近所で集まってシニアお気楽体操
- (関、参) しゃべる一む開催
- (関、参) シニア連ブロック研修 小谷パールクラブより活動紹介 参加
- (関、参) 興全寺で打合せ 夏の自習室 開催準備
- (参) パワーズさむかわ 男のクッキング教室
- (関、参) 夏休み宿題応援自習室きんじろうルーム開始 (全7日)  
シニア世代活躍
- (関、参) 一之宮ソフィア自治会へポップコーン製造機の説明 夏まつり準備
- (関、参) 大曲自治会 おこじゅうの会シニア・ジュニア ラジオ体操 参加  
1週間毎日開催、日を追って参加者が増え、まさに世代間交流の場
- (関、参) ボランティア体験会開催 シニア世代の活躍多数



## 8月

- (関、参) さむかわ元気プラン推進会議 出席 シニアが担い手の団体多数  
(関、参) 町自立支援協議会 打合せ  
(関) 県営寒川もくせいハイツ第二自治会 竹田会長と情報交換  
・スマホ教室を開催したものの、その後の安否確認 LINE には参加者ナシ  
・体操教室は第1集会所での開催での参加人数など踏まえ、第2集会所での開催を検討する。  
(関、参) 興全寺 夏の自習室 開始 全4日 参加者なく情報交換の場に  
今後、寒川町内で拠点を見つけ、居場所づくりを進める予定  
(関、参) 寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操 実習生が大歓迎される  
(関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 企画運営委員会  
(関、参) 盆踊り練習会 参加 世代間交流の場 シニア世代が踊りの指導  
(関) 社協の理事による「地域福祉部会」にてSCの業務状況を報告  
(関) 町自立支援協議会 出席  
(関、参) 小谷パールクラブ映画会 上映サポート  
(関、参) 寒川キリスト教会 ご近所で集まってシニアお気楽体操  
(関、参) しゃべる一む開催  
(関、参) 一之宮サマーフェスティバル 参加 先日の練習会の成果 盆踊り  
(関) 地域ケア会議(個別会議) 出席  
(関) 岡田もくせいハイツ自治会へ一体的実施の依頼と打合せ  
(関、参) 新町新生会 ミニサロン 映画会 機材貸出し  
(関) しゃべる一む 打合せ  
(関) 一体的実施事業 担当者会議 出席  
(関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 企画運営委員会



## 9月

- (関、参) 公園の体操が再開 秋はイベントが多いので情報提供も意識する  
(関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 出店者会議、企画運営委員会

- (関、参) 寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操
- (関、参) 田端高砂会 消費者被害防止の勉強会
- (関、参) チームオレンジ連絡会 オレンジカフェ参加者の送迎の相談を受ける  
しゃべる一むでのオレンジカフェ開催決定
- (関、参) しゃべる一む開催
- (関) しゃべる一むの活動支援の助成金に関する書類作成支援
- (関、参) 寒川キリスト教会 ご近所で集まってシニアお気楽体操
- (関) 町自立支援協議会 出席
- (関、参) アルツハイマーデイ さむかわ音楽ひろば 参加 シニア多数活躍  
公園の体操の周知等
- (関、参) 一之宮北フレンド 津軽三味線演奏が好評 別団体も開催を依頼
- (関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 企画運営委員会
- (関) 県営寒川もくせいハイツ第二自治会 竹田会長と情報交換



## 10月

- (関、参) 岡田すいせんサロン 三線の演奏、大鍋ですいとんを作り食べる  
サロン参加者のうち若干名が車での送迎を希望していることの相談
- (関、参) 第14回寒川町ふれあい福祉フェスティバル  
初めての体育館開催は参加団体にも来場者にも負担が少ない運営に
- (関、参) 寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操
- (関、参) しゃべる一む開催
- (関、参) 新町新生会 ミニサロン 映画会 機材貸出し
- (関) 地域ケア会議（個別会議）出席
- (関、参) ポールウォーキング体験会 自主活動へのお誘い、公園の体操PR
- (関、参) シニア向けのスマホ教室の件で町内のお店と情報交換
- (関、参) 寒川キリスト教会 ご近所で集まってシニアお気楽体操
- (関、参) ボランティア学びあい講座 開始 全3日

(関、参) 一之宮西自治会 防災講演会 参加 シニア多数活躍  
災害対応は全世代共通の対応事項

(関、参) ボランティア学びあい講座でS Cの紹介、公園の体操を紹介



## 11月

(関、参) 岡田すいせんサロン 認知症サポーター養成講座 開催  
終了後、サロンへの車での送迎について話し合い

(関、参) シニア連会長会議にて周知依頼 (介護に関する入門的研修、公園の  
体操、不要な羽毛ふとんが募金になる取り組み)

(関、参) 子ども食堂えんがわ 感謝の集い 参加 シニアが多数活躍、運営  
様々な関りで支援 (野菜、資金、調理、レシピ、会計、工作等)

(関、参) 寒川町ふれあい福祉フェスティバル 出店者会議、企画運営委員会

(関) 町自立支援協議会 出席

(参) ふれあい・いきいきサロン (障がい児者サロン) ボウリング

(参) サークルさくらの会、運営についての相談あり

(関) 社協の理事による「地域福祉部会」にてS Cの業務状況を報告

(関、参) 寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操

(関) 一体的実施事業 担当者会議 出席

(関、参) 岡田笑和会 映画鑑賞会 上映サポート

(関、参) 小谷パーククラブ映画会 上映サポート

(関、参) 寒川キリスト教会 ご近所で集まってシニアお気楽体操

(関、参) しゃべる一む開催

- (関、参) 寒川町ボランティア連絡協議会とケアマネジャーの会で交流会
- (関) 一之宮西自治会・斉藤会長と民生委員さん情報交換のつなぎと同席
- (関) 一体的実施事業 部課長会議 出席せず報告で情報共有くださる
- (関、参) ゆめクラブ大曲 周知依頼とコメント文作成支援
- (参) 成年後見講座 開催
- (関、参) 新町新生会 ミニサロン 映画会 機材貸出し
- (関) しゃべる一む ポスター、チラシ 作成支援
- (参) 福祉有償運送 運転者講習会



## 12月

- (参、関) 岡田すいせんサロン  
サロンに参加するための車での送迎について情報交換
- (参、関) 町社協の福祉大会で地域福祉活動にご尽力いただいている方を表彰  
長年のボランティア活動、サロンの運営、在宅介護者、多額寄付者、福祉施設での長年の勤務、共同募金運動への長年の協力、小学生と中学生の福祉作文の優秀作品受賞者。岡田すいせんサロン、一之宮ソフィア椿の花サロンからも表彰された。福祉大会での受賞者、来場者は、地域の支え合いの理解者であり担い手である方々。表彰されることを遠慮される方も多いが、長年の活動への感謝と表彰は、ご自身の励み、活動のエネルギーになるとおっしゃる方も多い。



(関、参) ボランティア交流会を開催。個人ボランティアとシニアげんきポイント活動者、合同で開催。①革細工にチャレンジ、②おしゃべり交流会



(関) シャベる一む 五島さん来所。ポスター用の印刷とパウチ、申請中の大和証券財団のボランティア活動助成の情報交換。後日、無事に女性も決定。シャベる一むの運営を支えてくれているメンバーに交通費の用意や、今後の運営、プログラム等に活用。

(関、参) 寒川町権利擁護ネットワーク連絡会を開催。認知症高齢者等の生活支援の1つである「日常生活自立支援事業」を生活支援員とも紹介。シニア世代が大いに活躍しているのが生活支援員。また、参加者は町内でサービス提供等をしている福祉関係事業所、また町役場関係課であり、支え手側のネットワークづくりの場になっている。ひいては、関わる相手である高齢者等の権利擁護につながる。



(関、参) 介護に関する入門的研修（基礎講座3時間30分）を開催。

『地域の事業所で活躍する現場のプロ等から、介護に関する基本的な知識を学べます。家族の介護のために学びたい人、定年後の仕事やボランティアを考えている人、学生など、介護について興味・関心のある方が対象の講座です。』

講師：社会福祉法人 吉祥会 寒川ホーム 39が受講



(関) 地域ケア会議（個別会議）は中止。

(関、参) さむかわクリーナーズが年内最後の活動日。生活保護受給者の社会参加、社会奉仕活として、町内の美化活動をしている。シニア世代の参加が多数。美化活動の前には、町健康づくり課の保健師や栄養士による血圧測定や健康管理に関する助言も。

(関、参) オレンジカフェのクリスマスパーティーが開催され、見学させてもらった。50名くらい、参加していた。演芸、音楽のご披露も、参加して楽しんでいる方も、シニア世代多数。



(関、参) 28日（木）、身近な公園で軽く体操しませんかは、一之宮公園の体操が年内最後、無事に終了。「また3月を楽しみにしてるわね」との「お声が複数。また、今月は下旬から、1月、2月の公園の体操がお休みの間の、例えば、室内の体操（健康づくり体操の日、ラジオの体操の宝蔵時間等）の情報をお配りした。その他、社協の事業で、オムツを使用している方を介護しているご家族のための紙おむつ代の助成について、案内チラシを配布。体操の合間で話題になることがあったため

## 1月

(関、参) 1月と2月は、「身近な公園で軽く体操しませんか」は、寒いので、お休み。しかし、暖冬気味で、複数の方から、「体操できたね、このあったかさじゃ」とのお声をいただく。「楽しみにしている」とのお声も。また、「健康づくり体操の日」に参加者が増えている。公園の体操に参加している方も多数、参加している。「公園は3月からね」とのお声をいただく。

(関、参) フードバンクさむかわの運営に関わるボランティアは世代は幅広いがシニア世代も複数。「ただ、流れ作業で食べ物を渡す」ではなく、受け取りに来た町民への声かけやちょっとした会話等、人と人の関わり、つながりの場にもなっている。受け取りに来所する世帯が増え続けている。高齢者も多数受け取りに来ている。「食品にお困りの方」という実感のある人が増えているか。「物価高でたまらないよ、とても年金じゃやっていけないよ」等の声が複数聞こえてくる。



(関) 個別相談。「90歳の女性、ひとり暮らし。家にずっとこもっていて、気がおかしくなりそう。体操がしたい、カラオケはヤダ、出かける場所を教えて欲しい。」

ご自宅を訪問し、健康づくり体操の日やシニア連の体操と単位クラブ等を紹介。単位クラブの会長につなぎ、対応を相談。会長がすぐにご本人を訪ねてくださり、早速、単位クラブに加入、すぐにシニア連の健康体操にも参加かされていた。「もっと早くこういう情報を知りたかった。」とご本人。

(関、参) シニア連の単位クラブ、田端高砂会は、毎週木曜日の午前9時から、田端の八島公園でグランドゴルフをやっている。10名以上の参加がある。「グランドゴルフの前にラジオ体操やってるんだよ。公園の体操が休みの間、来れる時だけ来てよ。ラジオ対応の音があると、やっぱり違うからさ」とのお誘いをいただく。以降、5回ほど、伺った。

(関、参) シニア連の単位クラブ、岡田笑和会に伺う。参加者で車の送迎の希望者があり、どのようにしくみづくりができるかの情報収集中。

1月下旬に、岡田東自治会、岡田西自治会に伺って、岡田すいせんサロン、岡田笑和会の現状と、車で送迎をご近所同士で支え合う仕組みをご相談予定。

(参) シニア連の単位クラブ、小谷パーククラブが、年度内最後の映画鑑賞会を

実施。いつもの通り、上映の機材貸出と上映のサポートに伺う。

(関、参) 健康づくり体操の日で、介護に関する入門的研修「入門編」を紹介し、受講の呼びかけ。

(関、参) 寒川町権利擁護ネットワーク連絡会を開催。今回は、養護老人ホーム湘風園、ソーシャルインクルホーム寒川町宮山のスタッフをゲストスピーカーにお招きし、施設内での金銭管理について教えていただいた。参加者は町内でサービス提供等をしている福祉関係事業所、また町役場関係課であり、支え手側のネットワークづくりの場になっている。ひいては、関わる相手である高齢者等の権利擁護につながる。



(関、参) 障がい当事者団体である寒川町福祉団体協議会（事務局的な支援を町社協が担う）が、映画上映会を開催。内容は自閉症に関する作品だったが、町内で活動する各種団体からシニア世代も多数、鑑賞。アンケートを見ると、「知ること、理解すること、できることはなんだろうか、支え合うこと」の気持ちが書かれている内容が多数。世代を問わず、お互いを理解し支え合うこと、お互いさまの関係であること、そのためにはまず「知る」ことがスタート。



(関) 岡田すいせんサロン、岡田笑和会、シニア世代を中心とした通いの場から、「参加したいけど足が悪くて移動できない人を車で送迎する方法はな

いか。コロナ禍での外出控えが影響し、足腰が弱って、今まで徒歩で来ていた人が、若干名は、車の移動が必要な状況になっている。介護認定を受けた人、入院した人、亡くなった人、ずいぶん増えてしまった」。この現状を伝えながら、岡田東自治会、岡田西自治会に伺って、岡田すいせんサロン、岡田笑和会の現状と、車での送迎をご近所同士で支え合う仕組みをご相談。

↓

結果、①まずは、岡田すいせんサロンと岡田笑和会どんなところか知ってもらうところから始めるのが良い。是非、見学に来てもらおう。②ご近所での支え合いは理解はするが、ご近所だからこそ、万が一、何かあった時にしこりが残ってしまうし、関係性が壊れてしまうということが懸念される。保険に入っているから等のお金の問題ではない。ご近所だからこそ難しいこともあるではないか。等のお声がでる。引き続き、情報収集と話し合いを進める。

(関、参) 寒川ポールウォーキングクラブ、メンバーが増え、20名を超えた。和気あいあいとした雰囲気の中で活動している。

(関) 寒川総合図書館から依頼を受け、図書館の職員向けに、「高齢者疑似体験」を実施。高齢に伴う機能低下を疑似体験しながら、高齢者に優しいまちづくりに取り組むきっかけにする。



## 2月

(関) 2月は、次年度に向けての相談、打合せが多く入ってきた。サロンやシニア連・単位クラブの年間のプログラム、歌や踊り等のご披露などをお願いするボランティアの調整、ボランティア行事用保険の加入手続き等、社協ボランティアセンターで対応している。

(関、参) 岡田すいせんサロンの運営者の方と話す。車での送迎の件、4月以降、取り組みが開始できるよう、お互いの情報収集と話し合いを継

続する。今日は節分のイベント。



(関、参)介護に関する入門的研修 入門講座 23時間 全4日間を開催  
受講者13名。講師は全て寒川町内の事業所にお越し、地域密着の  
内容の濃い講義と実践で、学びあいがあった。

講師：社会福祉法人 吉祥会 寒川ホーム  
認知症地域支援推進員（町地域包括支援センター）  
障がい者相談支援事業所ゆいっと  
町社協 生活支援コーディネーター



(関、参)寒川町ボランティア連絡協議会の会員研修会でボッチャを実施。

40名ほどの参加。日頃はグループ単位で活動しているメンバーが、ボッチャを通じて交流し、横のつながりに。障がい者スポーツを知り、体験し、理解する場にもなった。

- (関)寒川町地域自立支援協議会に出席。障がい福祉関連の各種団体、事業所、関係機関、自治会、民生委員児童委員、ボランティア等、支援者間のネットワークを確認できる場所でもある。
- (関)社協の理事による部会「地域福祉部会」で、SCの取り組みを含め、各種の状況報告と意見交換を行った。
- (関、参)寒川キリスト教会を会場にしたシニアお気楽体操の件で、教会の方と打合せ。次年度以降も継続して体操の取り組みをしたいとの意向。加えて教会の建物内でリフォームを行い、より多くのスペースを地域福祉活動に活用できるようにしたいとのこと。体操のほかに、お茶飲みや、当初の計画にあった子ども食堂などに活動が広がっていくか。
- (関、参)岡田すいせんサロン、岡田笑和会に、岡田東自治会と岡田西自治会からの見学者はなかった。また、車での送迎については、打合せには至らなかった。
- (関、参)しゃべる一むに伺うと、「来月、町役場から保健師さんが来てくださって、フレイルのことや顔のマッサージなどお話ししてくれることになった。是非、聞きにきて」と報告して下さる。しゃべる一むと町高齢介護課でパイプができており、すべて調整済み。また、しゃべる一むに引っ張ってきたい内容を情報収集しながら、ネットワークをつかって調整を進めて下さっている。
- (関、参)健康運動ボランティアの総会に伺い、「身近な公園で軽く体操しませんか」について、お話しさせていただいた。現場でのご協力のお礼と、3月から再開するので、引き続きのご協力をお願いをした。
- (関)フレイル予防教室・体操教室のチラシを、寒川もくせいハイツの集合ポストにポスティング。町役場から4名来て下さり、SCを入れて5名で手分けし30分ほどで終了。ポストの間口にテープを貼って封をしている世帯、テープの上に「ドアポストに入れて下さい」書いてある世帯、ポストから郵便物や配布物があふれ出でしまっている世帯等さまざま。団地内で立ち話をしている人が複数いて、手渡しでチラシを渡し声かけもできた。もくせい第2集会所では卓球の日。自治会の副会長がチラシを見て「予定してますよ」とのお声がけ。

(関)個別相談。大曲の世帯を訪問。高齢の母親と知的障がいの息子。高齢の母親が、親亡きあとの息子のことに備えるため、町社協の日常生活自立支援事業、法人後見事業について聞きたいとのこと。さむかわ基幹相談支援センターがコーディネートしてくださり訪問がかなった。高齢の母親は、息子の生活支援を全面的に行っている。

## 令和6年度 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議について

## 1 取り組みテーマについて

「点から線へ 線から面へ つなぐ力を最大限に発揮してシニア世代を応援」

本会議および生活支援コーディネーターについて明記されている「高齢者保健福祉計画」の基本理念「地域を支える つながる力 さむかわ」に関連するテーマ設定

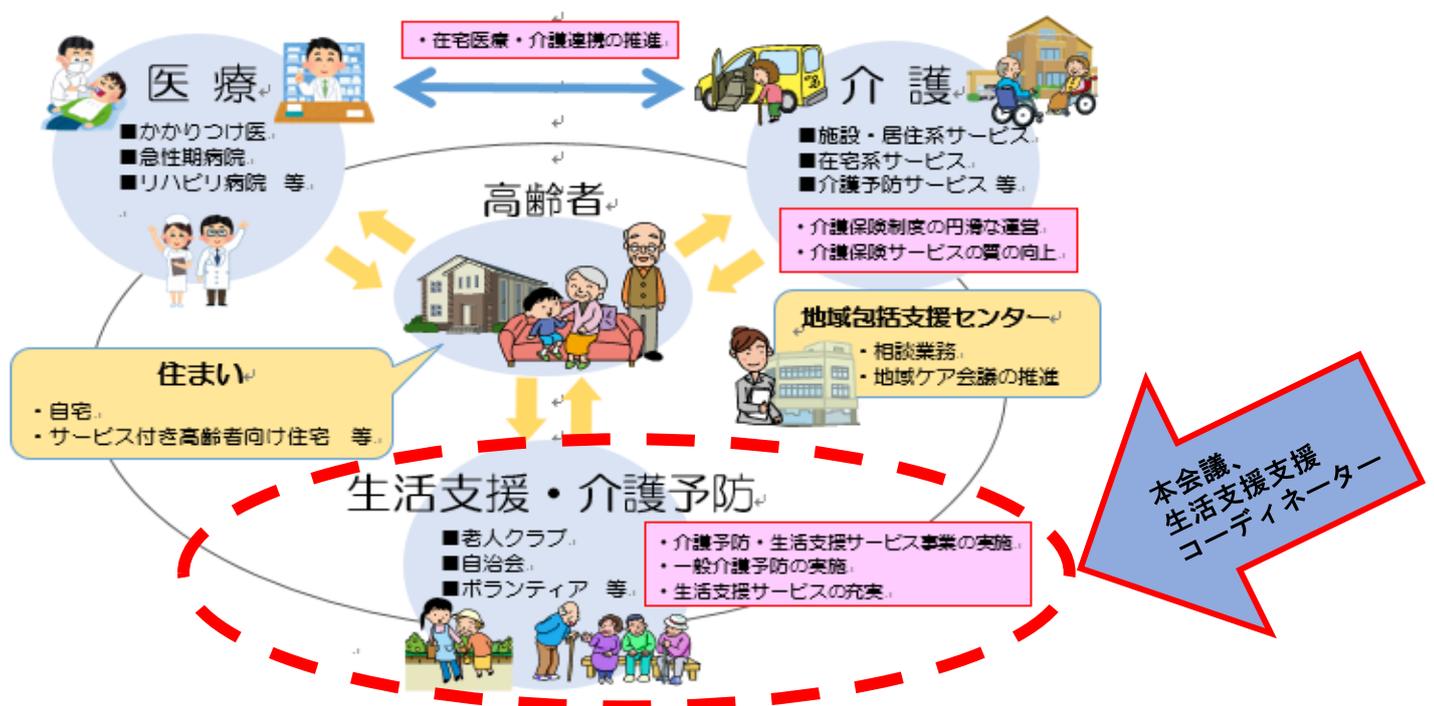
## 2 会議の開催について

5月、8月、11月、2月の年4回開催 あらかじめ1年分の日程調整を予定

- ・ 3ヶ月ごとの開催で近況の報告やその後の動きについての意見交換
- ・ 本会議の委員との日頃からの連携が、生活支援コーディネーターの取り組みの核

## 3 全体像について

寒川町における地包括ケアシステム（高齢者保健福祉計画より抜粋）



#### 4 具体的な取り組み

---

★情報をつなぐ 人をつなぐ 団体をつなぐ 活動をつなぐ 気持ちをつなぐ  
その調整とつなぎを本会議の委員との確認・連携のもと、生活支援コーディネーターが動く。コーディネートする。

★寒川町にすでにたくさんの「点（情報、活動、場所、人、団体等々）」があることに軸足を置き、じっくり取り組む。

##### 「点」

①町内の通いの場、集いの場の把握と最新情報の確認

※【案】

シニア世代は必見！必携！

寒川町で「きょうよう」と「きょういく」を楽しむ！！ ガイドブック作成

『今日の用事』 『今日行くところ』

②こんなことが不足している…の詳細と他地域での取り組みの情報収集

- ・ 町内の通いの場へ車での送迎の希望者増
- ・ シニアのひとり暮らし男性のエンパワメント的な生活支援

##### 「点から線へ」

① 「点」で把握した内容をつなぐため、情報誌（資源マップ的）を作成し情報をつなぐ※

② 「点」で把握した困りごとをどうしていくか、詳細の状況把握と、同様の困りごとが複数の人、複数地域であるか把握しながら、情報をつないでいく。

加えて、

①、②を進めるにあたり、会議体の委員との連携、また地域のネットワークを活かしながら、どこに、つないでいくかを考える。

##### 「線から面へ」

①出来上がった情報誌をシニア世代に届け、シニア世代が情報を活用しながら動く、生活をする。また、そのような人が出会うことで、さらに情報が広がり、町内全体へ、面としての広がりにつながる。

②シニア世代のひとり暮らし男性が集まり、自分たちにできる生活支援活動を始めたり、その活動が町内のいろんなところへ広がり、生活支援の活動の広がりが面となって、町に根付く。